

※一部非公開

平成23年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

資料の文章は、15才の少年が自分の心情を綴った詩である。これをよく読んで、以下の問いに答えなさい。

- 問1 この詩から、少年にどのような出来事があり、どのような状況に陥って、どのような心情でいると想像できるか。800字以上、1000字以内で述べなさい。
- 問2 そのような少年に、あなたはどのような声かけをすることが出来るだろうか。あなたがかける言葉を、少年に語りかけている口調（口語体）で、800字以上、1000字以内で述べなさい。

非公開

(山田かまち著、『山田かま치의ノート (上)』,  
ちくま文庫, 1993年, 174~176, 抜粋)  
※表記は全て原文のままです。

## 平成23年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

### 出題の意図

本コースでは、単に臨床心理学にとどまらない、懐深い人間理解の視点を培うことで、現場で本当に役立つ臨床心理士や音楽療法士、臨床動作士の基礎を築くとともに、教員を含めた幅広いニーズに応えうる社会人の養成を行う。こうした専門家になるためには、人間に対する深い共感性と豊かな想像力が不可欠である。また、単に共感するだけではなく、相手の心情を構造的に理解し、適切な言葉で問いかける理性的思考能力も必要となる。

こうした能力を評価するため、本入試問題では、思春期の少年の心情を綴った詩を題材に、①思春期の子どもの心情に対する想像力、②そこから物語を構成し、具体的に記述する構成力、③口語体で語られる声かけから見える共感能力を問う。詩の世界の正確な読み取りよりも、その心情を自分なりに理解し、他者に向かって的確に表現する、思考の柔軟性を評価の対象とする。